

令和7年4月1日

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

株式会社新日本観光自動車
代表取締役 佐久間 洋 行

1. 輸送の安全に関する基本的な方針(安全方針)

※私たちは、輸送の安全を最優先とし、社会的責任を自覚し、全従業員が一丸となって、絶えず安全性の向上に努めることを基本理念とします。
安全なくして事業の継続はあり得ないとの認識のもと、法令遵守と安全文化の定着を図り、お客様に「安心・信頼」される輸送サービスを提供します。

2. 輸送の安全に関する目標と達成状況

	2024年度(令和6年度)目標・達成状況	令和7年度目標
(1)重大事故(事故報告規則2条)	0件 達成(1件)	0件
(2)人身事故	3件 達成(0件)	3件
(3)対物事故	8件 達成(2件)	7件
(4)車両故障	6件 達成(7件)	5件

3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する情報(2024年度・令和6年度)

件数 0件(死亡事故0件、重傷事故2件、軽傷事故1件、物損事故8件、事故報告書提出件数1件、健康起因事故0件)自動車事故報告規則第2条に規定する事故は発生していません。

4. 安全管理規程

- (1)別添のとおり
- (2)安全統括管理者 営業部長 稲元秀雄

5. 輸送の安全の為に講じた措置

① 運転士への定期的な安全教育の実施計画

- ・年間教育計画の実施
- ・ヒヤリ・ハットの収集分析と対策を検討し、輸送の安全確保に向けた意識の向上を図ります。
- ・適性診断結果に基づく運転評価研修の実施(個別指導・再教育を実施)
- ・交通安全運動期間中は事故防止運動を実施します。
春の全国交通安全運動 4 月、 秋の全国交通安全運動 9 月、
年末年始自動車輸送安全総点検 12 月、1 月、
- ・健康起因事故防止の為にスクリーニング導入
- ・睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査の拡充、再検査・治療の勧奨体制強化。

② 運転者の「適正配置」の見直し

- ・年齢や健康状態、過去の運転評価に応じて無理のない勤務計画を立案し、特定の運転士に負担にならないよう配慮調整。

③ 設備投資(実績)

- ・令和6年度の輸送の安全に関する投資額
 - 安全教育費(適性診断受講費及び講習費含む)
 - アルコール検知器の導入及び更新
 - 睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査
 - 脳 MRI 健診
 - 置き防止装置取付
 - 総額 700,000

④ 設備投資(予算)

- ・令和7度の輸送の安全に関する主な予算額
 - 安全教育費
(適性診断受講費・新人教育費用・雪山研修費用・登坂路研修・救急救命講習)
 - 健康起因の事故防止
(脳 MRI 健診・心疾患スクリーニング検査・眼底検査・SAS(睡眠時無呼吸症候群))
 - アルコール検知器の更新等
 - 総額 1,200,000

6. 輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制

別紙1「安全管理体制図」、別紙2「重大事故・異常事態・災害発生時の連絡体制図」のとおり

7. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

・運転者に対する教育及び研修の実施回数

令和6年度 8回



令和7年1月19日全体講習



令和6年11月23日全体講習

・運行管理者に対する教育及び研修の実施回数

令和6年度 2回



令和6年5月28日全体講習

・初任運転者に対する添乗実技指導



令和6年9月15日 ~ 和6年10月1日（実地指導教育）